

市橋まち協だより

令和4年3月15日発行
第7号発行
市橋まちづくり協議会

令和3年度の活動をふりかえる

平成31年2月16日、自分たちの住む市橋地域を自分たちの手で住みよくするための話し合いや活動をする組織、「市橋まちづくり協議会」を立ち上げました。

立ち上げから丸3年経ちます。そのうちの2年は、コロナ禍により、事業が計画どおりできないという状況になりましたが、今年度も昨年度と同様、知恵を絞り、第5・6号でお知らせしましたように、6・11月に「花いっぱい運動」、11月21日に「市橋ふれあいフェスターー健幸ウオーカー」、12月17日に「市橋なごやか健康体操」を実施しました。

(1) 花いっぱい運動に自分たちも参画！

6月にサルビアやマリーゴールドなどの苗を植えた後、中学生が自主的に水やりをする姿がみられました。また11月の花のビオラの苗植えに地域の子ども会の役員・子ども・自治会長・近所の方が参加する姿がみられました。こうした姿がさらに広がるとよいと思います。



(2) 健幸ウオーカーに小学生5年生が参加！

今年度から小学生5年生が、健幸ウオーカーに参加することとなりました。子どもたちが地域のよさを知る機会となりました。歩くことの大切さと同時に地域のよさを再確認できる機会となるよう、工夫・改善に努めたいと思います。



第5・6号でお知らせしました内容の他にも以下のことを行いましたので、紹介します。

(3) 市橋地域防災組織表の作成

昨年度、いつ起こるかわからない災害に対し、市橋在住の皆さんが日ごろから防災対策として活用できるよう、冊子「市橋防災Q&A」を作成しました。

今年度は、自主防災組織表を作成し、地域の皆さんに2月にお届けしました。お届けしました3つ折りの「市橋地域自主防災組織と活動」の表を、冊子「市橋防災Q&A」にはさんで保管いただくことをお勧めします。

(4) 冊子「笑顔でつながるまちに！」の作成

市橋まちづくり協議会では、令和元年度の後半から横断歩道停止にかかわる取り組みを始めました。今年度は、市橋小学校6年生全員に「信号のない横断歩道を登下校時に通行するときに、心に残っていること」を記してもらいました。

子どもたちの思い・願いを是非とも生かすことが大切であると考え、冊子を作成することとし、地域の皆さんに3月にお届けしました。

市橋まちづくり協議会では、6年生の皆さんの思い・願いを生かし、以下の提案をします。(冊子P19掲載)

- 1 運転者は、運転中、信号のない横断歩道に常に注意する。
- 2 運転者は、信号のない横断歩道を渡ろうとしている歩行者がいたら、後方に気を付けながら停止できるようにする。
- 3 運転者は、歩行者がとまどっているときは、横断歩道を渡るよう、目と手で合図する。
- 4 歩行者は、運転者に、笑顔で会釈する。

笑顔でつながるまちに！

—横断歩道停止運動を通して—



令和4年3月発行

《市橋まちづくり協議会》

— お 願 い —

市橋まちづくり協議会は、住みよい市橋にするため、住民が考えを出し合い、活動する組織です。共に考え、活動いただく方を募集しています。(事務局長)